題　　目

‐副題（副題がある場合のみ）‐

※一行スペース

明学　太郎

※一行スペース

（学籍番号：00PS/PE0000，指導教員：緒方明子教授）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※一行スペース

問題

　・行数，文字数，行間等のレイアウトの設定は，

　　本ファイル(word版)の設定をそのまま利用す

　　る。本ファイルをコピーした上で，その内容

　　を上書きする形で執筆を行うこと。勝手に設定を変更しないこと。

　・要旨は２枚以内に必ず収めること。

　・全文のフォントをMS明朝に統一。題目のフ

　　ォントサイズは18，本文のフォントサイズは

　　11（※本ファイルの設定）。英字はCentury

 を利用する。

 ・題目が長く，二行以上にわたる場合には、一

　　行で収まるようにフォントサイズを適宜変更

　　して良い。

　・副題が無い場合には，その行は詰め，題目と

　　氏名の間に一行のみスペースが入るようにす

　　る。

※見出しの前は1行分スペースを空ける

目的

　・「目的」は，問題とは別に見出しを設けても

良いし，「問題と目的」の最後の段落に記載

しても良い。

方法

研究（調査・実験）対象者

（これらの小見出しは必要に応じて適宜使用する）

手続き

※見出しの前は1行分スペースを空ける

結果

自尊感情尺度

Figure 1　自尊感情尺度の得点の変化

　・図表は適宜挿入可能（１つ以上の図または表を

含めることが望ましい）。表図は１段内に収め

ること。

　・表や図中の数値や記号のフォントや桁数の記

　　載については卒業論文執筆の記載法に従うも

　　のとする。

　・図表のタイトルの位置にも注意すること。表

　　は Table 1, 図はFigure1のように英文を用

　　いて表記すること。

※見出しの前は1行分スペースを空ける

考察

※見出しの前は1行分スペースを空ける

主要引用文献

金城　光・清水寛之・鈴木雄大・田村　隆（2018）20‒90 歳の成人を対象とした年齢と性別による身体的・精神的加齢自覚と受容の時期の比較　*明治学院大学心理学紀要*，**28**，1‒19.

　すべての文献を挙げられない場合は主要な文献のみでよい。その他の記載方法は学科指定の卒業論文執筆の記載法に従うこと。

付記

　本研究は著者による2018年度心理学科卒業論文「（タイトルを記入する）」における研究の一部として行われた。

・該当する卒業論文・修士論文があれば付記として記載すること

※原則として出来るだけ最終行まで埋めること。（発表要旨はかならずA4用紙２枚に収めること）